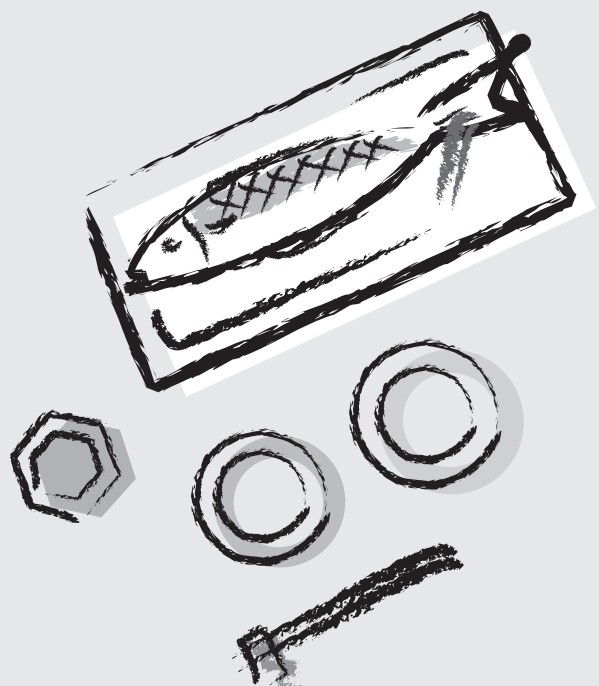
全口センサー搭載

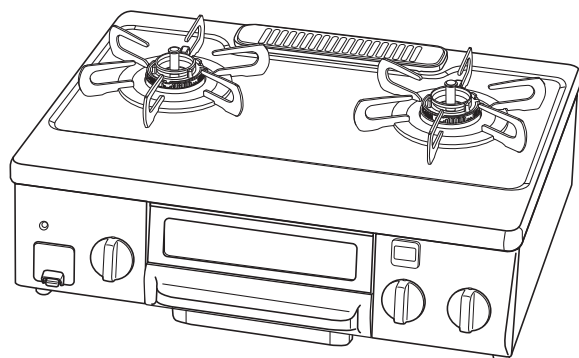
Siセンサーコンロ パロマガステーブル

取扱説明書 家庭用

品名： IC-330SV-L
IC-330SB-R
IC-330SF-L
CZ-33SB-R
KJ-333SB-R
IC-33BE9-L

このたびはガステーブルをお求めいただきまして、ありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
●「取扱説明書」を紛失された場合はお近くの当社までお問い合わせください。

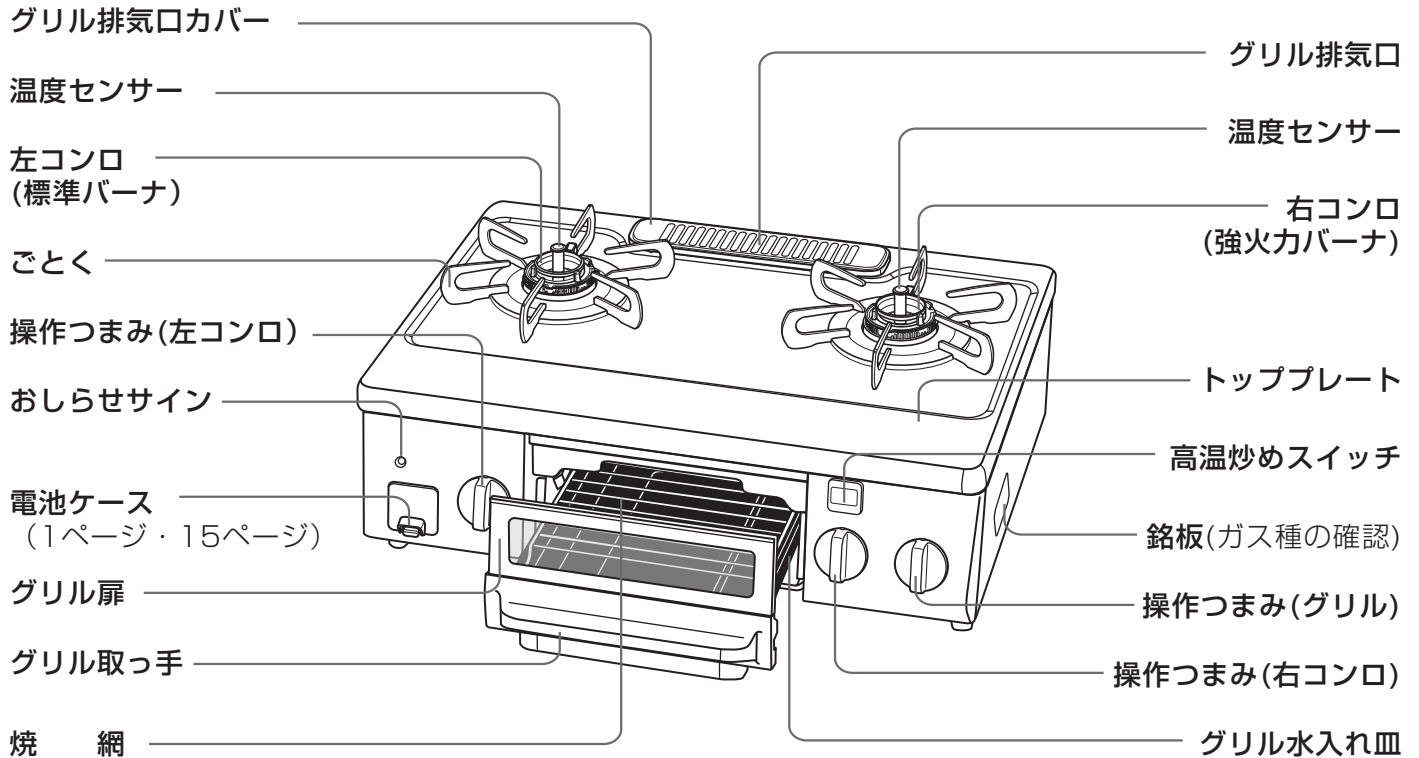
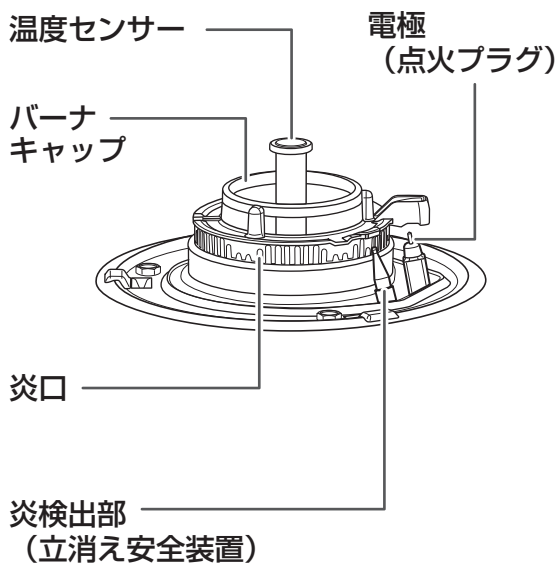
すべての方にもっと安心して、もっと便利に、もっと笑顔で料理を楽しんでいただくために、ガスコンロが進化しました。
安心（Safety）、便利（Support）、笑顔（Smile）を約束する、賢い（intelligent）温度センサーをすべてのコンロに搭載した進化したスマートなコンロ「Siセンサーコンロ」です。

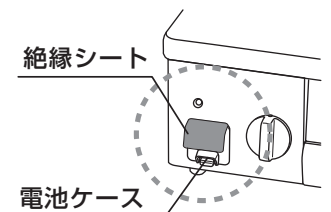
Paloma

もくじ

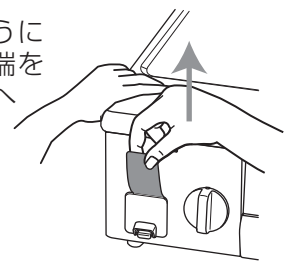
各部のなまえ

取扱説明書中の図は、IC-330SB-R・CZ-33SB-R・KJ-333SB-Rのご紹介となっております。
IC-330SV-L·IC-330SF-L·IC-33BE-9-Lは、強火力バーナ·高温炒めスイッチが左、標準バーナが右についています。

グリル排気口カバー
温度センサー
左コンロ
(標準バーナ)
ごとく
操作つまみ(左コンロ)
おしらせサイン
電池ケース
(1ページ・15ページ)
グリル扉
グリル取っ手
焼　網

グリル排気口
温度センサー
右コンロ
(強火力バーナ)
トッププレート
高温炒めスイッチ
銘板(ガス種の確認)
操作つまみ(グリル)
操作つまみ(右コンロ)
グリル水入れ皿

バーナ部 拡大図

ご使用前に電池ケースを確認！！

電池ケースには乾電池
(単1形 1.5V 2個)が
あらかじめセットされて
いますので、絶縁シートを
取りはずしてからご使用く
ださい。

【取りはずしかた】

機器本体を浮かないように
押さえ、絶縁シートの端を
しっかり持ち、上方向へ
引き抜いてください。

※絶縁シートが残った状態では点火しません。
必ず取りはずしてからご使用ください。

特　長

コンロ部（標準バーナ・強火力バーナ）の主な特長

■省エネルギー高効率コンロバーナ
（標準バーナ、強火力バーナ）
従来のコンロに比べ、受け皿がなく、お手入れしやすいバーナです。また、熱効率が大幅に向上していますのでガス代を節約できます。

■回転式連続スパーク点火
（標準バーナ、強火力バーナ）
操作つまみを押し回すと、パチパチと連続スパークし、より確実な点火を実施します。

■立消え安全装置
（標準バーナ、強火力バーナ）
風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。

■天ぷら油過熱防止機能
（標準バーナ、強火力バーナ）
調理油の過熱を防止するために、温度センサーが消火温度になると自動的にガスを止め消火します。

■焦げつき消火機能
（標準バーナ、強火力バーナ）
煮物などの調理時になべ底が焦げつきはじめると自動的にガスを止め消火します。（なべの材質、調理物の種類、火力によって焦げの程度は異なります。）

■消し忘れ消火機能
（標準バーナ、強火力バーナ）
万一の消し忘れのために、点火後、コンロは約120分で自動消火します。

「さらに安心モード」（21ページ）
→自動消火するまでの時間を３０分に変更することもできます。

■異常過熱防止機能（早切れ防止機能）
（標準バーナ、強火力バーナ）
炒めもの調理・焼きもの調理など比較的温度の高い調理や、なべのから焼きをしたときに、弱火⇔強火と火力を自動調節し、なべなどの異常過熱を防止します。この状態が約30分続いた場合、または弱火状態でも温度センサーが更に高い温度になった場合は自動消火します。

「さらに安心モード」（21ページ）
→高温での調理が続いた場合、約30分で自動消火する設定を約15分に変更することもできます。

■高温炒め機能
（強火力バーナのみ）
煎りもの料理など高温が必要な調理の場合には、高温炒め機能をご使用ください。
高温炒め機能をご使用時も異常過熱防止機能がはたらき、高温になり過ぎたときや、約30分を過ぎたときは自動消火します。

グリル部の主な特長

■回転式連続スパーク点火
操作つまみを押し回すと、パチパチと連続スパークし、より確実な点火を実施します。

■立消え安全装置
炎が消えたときに自動的にガスを止めます。

■消し忘れ消火機能
万一の消し忘れのために、グリルは約22分で自動消火します。

■フレームトラップ【グリル排気口遮炎装置】
万一グリル庫内で炎が上がっても、フレームトラップがグリル排気口より炎があふれ出すのを抑制し、火災を未然に防ぎます。

※操作つまみの戻し忘れのお知らせについて

安全装置がはたらき自動消火した場合は、操作つまみを「止」の位置に戻し、消火操作をしてください。
そのまま操作つまみを戻し忘れると、1分毎に“ピー ・ ピー ・ ピー”と3回ブザーが鳴りお知らせします。

安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な禁止

火気禁止

一般的な注意

分解禁止

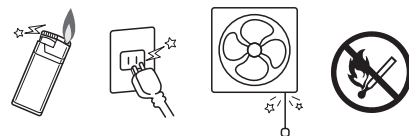
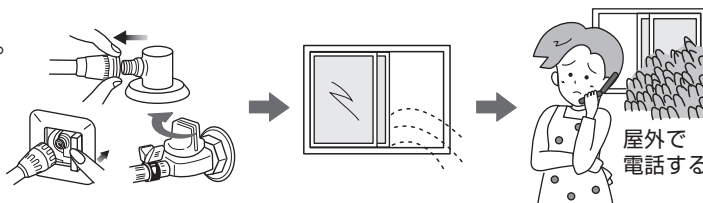
発火注意

必ず行う

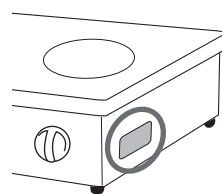
換気必要

⚠危険

■ガス漏れ時使用厳禁

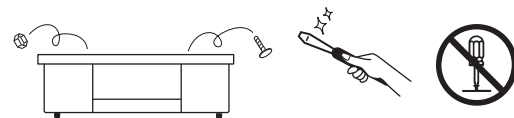
ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
（つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具をはずす）
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③お近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。

⚠警告

■機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスでは使用しない

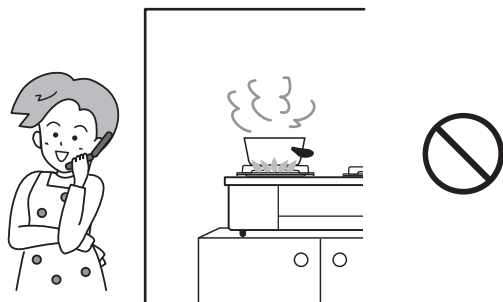
表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。
＊おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）までご連絡ください。

型式名
LPガス　ガス消費量
製造年・月・製造番号　製造事業者名

型式名　都市ガス用
ガスグループ　ガス消費量
製造年・月・製造番号　製造事業者名

■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は不完全燃焼による一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

⚠警告

■火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない

料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。とくに天ぷら、揚げものをしているときは注意してください。グリルを消し忘れると調理中のものに火がつくことがありますので注意してください。

■機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

- ●機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを通さないでください。火災の原因になります。

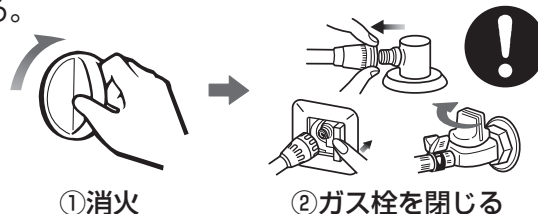
■グリル排気口の上にタオル、ふきん、なべなどをのせたり、アルミはくでふさがない

不完全燃焼や火災の原因になります。

■当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■異常時・緊急時の処置

①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
（つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具をはずす。）
②「故障かな？と思ったら」に従い処置する。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くの当社まで連絡する。

■使用中、使用直後の持ち運び禁止

火がついたまま持ち運ばないでください。火災、やけどの原因となります。
また、コンロ上の調理物などが倒れてやけどをするおそれがあります。

■市販の補助具を使用しない

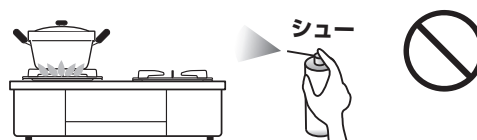
市販の補助具（省エネ性をうたった補助具、市販のアルミはく製しる受け皿、焼網など）を使用しないでください。一酸化炭素中毒や、異常燃焼、点火不良のおそれがあります。
また、温度センサーがはたらき消火したり、トッププレートやごとくの変色、変形の原因にもなります。

省エネごとく

アルミはく製しる受け皿

焼網

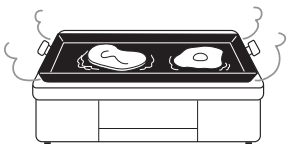
■機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

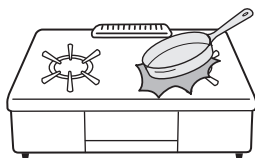
スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。

必ずお守りください

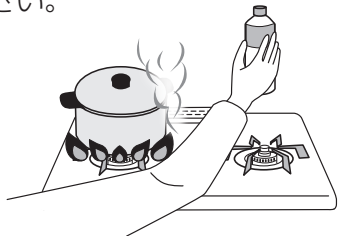
⚠警告

■点火操作、消火操作をしたときは必ず炎を確認する。また、使用後は機器のガス栓を閉じる

■コンロを覆うような大きな鉄板類やなべは使わない

不完全燃焼や機器の異常過熱、ごとくの変形、トッププレートの損傷の原因になります。

■トッププレートに衝撃を加えない
トッププレートの上に乗らない

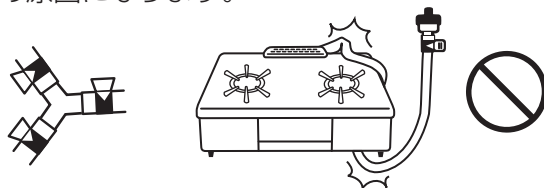
トッププレートが破損し、異常過熱や火災の原因になります。
破損したときは、すぐに修理を依頼してください。

■コンロ使用中は身体や衣服を炎に近付けない

衣服に炎が移ってやけどのおそれがあります。また、温度センサーが作動して炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられて鍋底からあふれ、衣服に移ることがありますので注意してください。
特にコンロの奥に手をのばすときは注意してください。

■ゴム管はときどき点検して取り替える

古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。

■ガス接続

①継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
②機器の上や下を通さない
③高温部に触れない。
また、他の熱源などの高温部に触れない
④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする

使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れの原因になります。

ゴム管（またはガスコード）をホースクリップで固定してください。（14ページ）

■接続口に汚れやごみがないようにする

ガス漏れの原因になります。

■ガスコードを使用する場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って正しく接続する

「設置について」の「ガスコード接続の場合」を参照してください。
間違った接続はガス漏れの原因になります。

■ガス用ゴム管（ソフトコード）を使用する場合は、検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかり止める

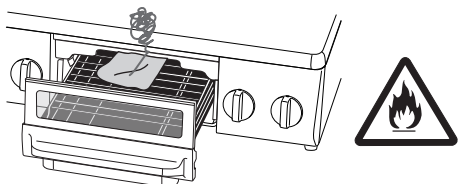
ガス用ゴム管、ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。

⚠警告

■グリル庫内に食品くずやふきんがないようにする。またグリル扉にはさんだまま使用しない

使用中に燃えることがあります。使用前に庫内を点検してください。
＊取り除く際はケガをしないように注意してください。

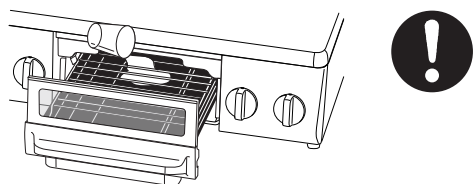
■脂の出る料理には、焼網の上や下にアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。

■グリルを使用する時は、グリル水入れ皿に必ず所定の水量（約200 mℓ）の水を入れ、使用中は常に水のある状態を保つ。グリル使用後は必ずお手入れする

グリル水入れ皿にたまった脂や、調理物が燃えて火災のおそれがあります。

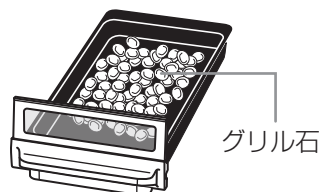
■グリル水入れ皿に水以外のものは入れない

機器の損傷や、たまった脂が過熱され燃えて火災の原因になります。また、グリル水入れ皿が異常に過熱されて膨張し、出し入れする際にグリル庫内に擦れて重く感じたり、ホーローを傷めることがあります。フッ素コートトッププレートの場合、変色の原因にもなります。

グリル石

⚠注意

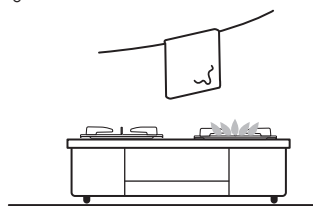
■ガス事故防止（換気に注意）

閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。
＊自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。

換気必要

■調理以外の用途には使わない

過熱 ・ 異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。

■衣類（ふきんなど）の乾燥などに使用しない

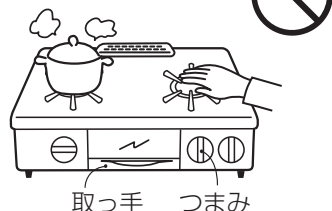
衣類（ふきんなど）が落下して火災の原因になります。

■幼児や小さな子供に触らせない

思わぬ事故の原因になります。

必ずお守りください

⚠ 注意

■使用中や使用直後は操作部以外は触らない

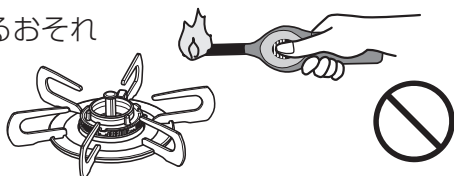
機器本体とその周辺および調理道具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。
＊特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。

■点火操作時や使用中はバーナ付近に触れたり、顔を近づけたりしない

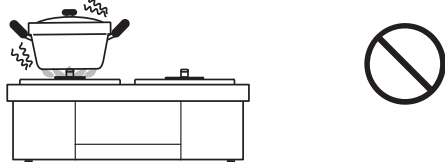
熱や炎でやけどをするおそれがあります。

■点火操作をしても点火しない場合は操作つまみを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると、周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

■この機器の点火装置以外の方法では点火しない

やけどをするおそれがあります。

■ごとくをはずして使用しない

なべなどを直接コンロにおいて使用しないでください。不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。

■やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強すぎると、やけどのおそれやなべなどの取っ手が破損する原因になります。

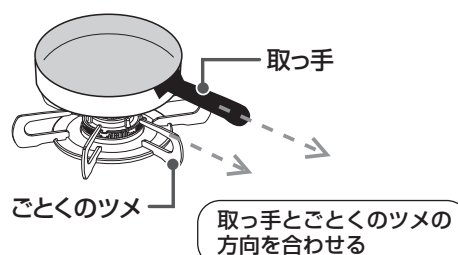
■片手なべ・底が凹んだなべ・丸いなべ・底がすべりやすいなべ・径の小さいなべなどは不安定な状態で使用しない

片手なべなどは、調理中になべのふたを取ったり、水分の蒸発などにより調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により押し上げられ、傾いたり、ずれ落ちる場合がありますので必ず取っ手を持ちながら調理してください。

■中華なべなどの底の丸いなべは、取っ手を持ちながら使用する

不安定な状態で使用すると、なべが傾いて調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。

■片手なべやフライパンなど、重心が片寄ったなべは不安定な状態にならないよう、取っ手をごとくのツメ方向に合わせる

取っ手を持って使用する、取っ手を機器の前面からはみ出さないように向けて置くなど、安定した状態で使用してください。

⚠ 注意

■みそ汁などを温めなおすときは火力を弱めにして、よくかき混ぜながら温める

強火で急に温め直すとなべ底に沈んだみそが突然噴き上がり（突沸現象）、みそ汁などが飛び散ったり、なべがはね上がってひっくり返ることがあります。特に、だし入り豆みそ（赤みそなど）に注意してください。

【突沸現象について】

突沸現象とは、突然に沸騰する現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。直火でこれらを温めるときにも起きることがあります。
この現象が調理中に起きると、なべがはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやケガをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。

- ●カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。(強火で急に加熱しない。）
- ●熱々の汁物に塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少しさましてから行う。
- ●鍋の大きさにあった火力で加熱する。

■窓から吹き込む風や冷暖房機器の風、扇風機の風などを機器にあてない

機器焼損や作動不良の原因になります。

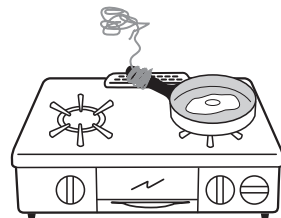
■水平で安定したところに設置する

機器が傾いていると、調理中の鍋などが滑り落ちて、やけどやけがをするおそれがあります。
また事故や故障の原因になります。

■グリル扉に重いものを乗せたり、強い力を加えたりしない

グリル扉がはずれ、ケガや機器破損の原因になります。

■排気口に注意

グリル使用中はグリル排気口に手や顔を近付けたりなべの取っ手等を向けたりしないでください。高温の排気熱が出ているため、やけどや取っ手が破損をするおそれがあります。

■グリル使用時は魚を焼きすぎない

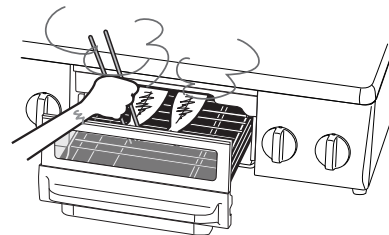
魚に火がつき機器焼損の原因になります。

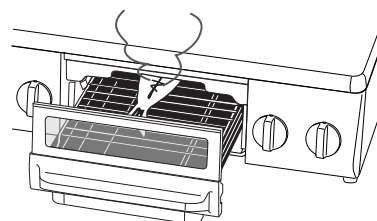
■万一、グリル使用中に調理物や脂に火がついたときは、操作つまみを回して消火状態にし、火が完全に消えるまでグリルを引き出さない

炎があふれ出して、火災ややけどをするおそれがあります。

＊消火後、点検を依頼してください。

■魚を裏返すときなどは、手や腕がグリル扉やガラスに触れないように注意する

やけどをするおそれがあります。

■グリル使用中はグリル扉を開けたままにしない

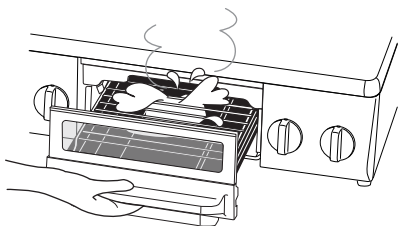
あふれた熱気により、トッププレートやつまみが過熱されやけどや変色・変形の原因になります。

必ずお守りください

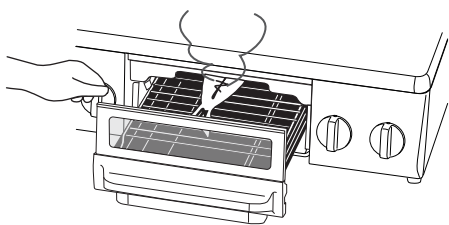
⚠ 注意

■グリル水入れ皿を持ち運びする際は、中の水がこぼれないように注意する

使用中、使用直後は水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。

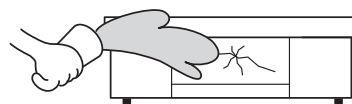
■グリル水入れ皿を勢いよく出し入れしない

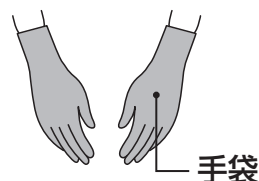
ゆっくり出し入れしてください。使用中、使用直後に勢いよく引き出すと水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。

■グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でコンロ操作をしない

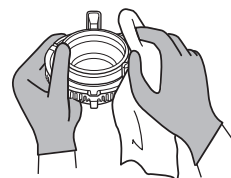
熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。

■鶏肉などの脂の多い食材を焼くときは注意する

飛び散った脂に引火してグリル庫内で調理物が発火するおそれがあります。

■熱くなったグリル扉ガラスに衝撃を加えたり（グリル扉の落下も含む）キズをつけたりしない
また、使用中や使用直後に水をかけない

ガラスが割れてやけどやケガをする原因になります。

■点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

■バーナキャップを水洗いしたときは水気を十分ふき取る

水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることがあります。

■グリル庫内や本体内部をお手入れする際は各部品の突起物等に注意する

力強く当たった場合、手をけがすることがあります。

おねがい

■この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有償となります。

■使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。

■燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

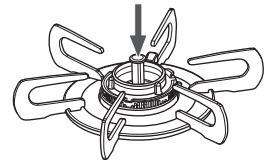
■初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

■トッププレートの手前を強い力で押さえないでください。トッププレートが浮き上がることがあります。

■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

■トッププレートの上でIHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により機器が故障する原因になります。

温度センサーを正しく作動させるために必ずお守りください

この製品は全てのコンロに温度センサーがついています。

⚠警告

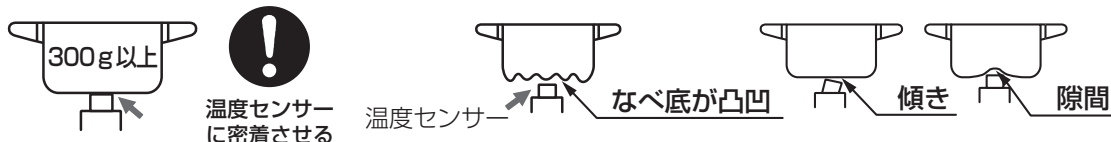
■火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない

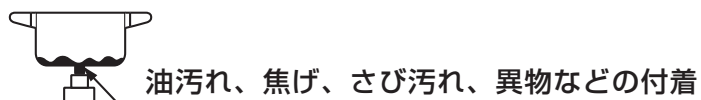
料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。
とくに天ぷら、揚げものをしているときは注意してください。

■高温炒め機能を使用中は揚げもの調理をしない

高温炒め機能は、天ぷら油過熱防止機能の消火温度が高くなっていますので、調理油が過熱され発火のおそれがあります。（高温炒め機能・・18ページ参照）

■温度センサーの上面となべ底やフライパンの底などが密着していないときは、使用しない

温度センサーがなべ底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに発火や途中消火、機器焼損の原因になります。なべ底と温度センサーの間には隙間や異物がないようにしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。なべの重さは調理物を含め300g以上が必要です。

■なべ底やフライパンの底などについた異物や著しい汚れ・焦げなどは取り除く

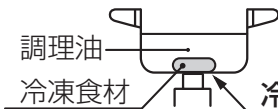
なべ底やフライパンの底に異物や汚れ・焦げなどが付着したまま使用すると、温度センサーがなべ底やフライパンの底などの温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。

■揚げもの調理は食材全体が十分につかるまで調理油（必ず200㎖以上）を入れて行う

調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、温度センサーがはたらかず、発火するおそれがあります。特にフライパンなどの底が広いなべで揚げもの調理をする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと発火するおそれがあります。

200㎖以上の
油を入れる

⚠警告

■冷凍食材をなべの底面中央に密着させた状態で揚げもの調理をしない

なべの底面中央（温度センサーの接触位置）に冷凍食材が密着した状態で揚げもの調理をすると、温度センサーがなべ底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。
食材は中央部を避けて置いてください。

冷凍食材をなべの底面中央（温度センサーの接触位置）に密着させない

■複数回使用した調理油で揚げもの調理をしない

何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。
発火が起こりやすくなる場合があります。

■揚げすぎない

豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは特に注意してください。
揚げすぎると油が飛び散り、発火ややけどのおそれがあります。

■耐熱ガラス容器、土なべなど、熱が伝わりにくいもので揚げもの調理はしない

天ぷら油過熱防止機能が働かず、発火することがあります。

耐熱ガラスなべ　土なべ　圧力なべ

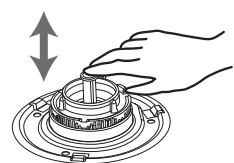
打ち出しなべ　丸底中華なべ

⚠注意

■温度センサーに強いショックを加えたり、キズをつけない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。また、温度センサーが故障すると温度センサーが作動しない場合があります。

■温度センサーがスムーズに上下に動くか確認する　また温度センサーとなべ底の密着する部分はいつも清潔にしておく

コンロを使用していないときに、なべなどをごとくの上に乗せておいても温度センサーに支障はありません。しかし、汚れが付着したり、動きが悪いと温度センサーがなべ底の温度を正しく感知できず、調理油の発火の原因になります。お手入れしても温度センサーの動きが悪いときはお買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。

設置について

■準備と確認

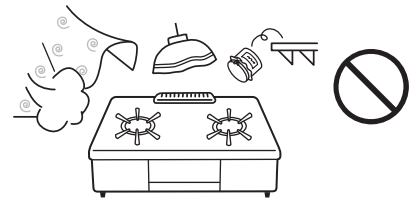
●箱から機器を取り出し、あて紙や梱包部材やテープを取り除く。
●ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる。
　合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する。

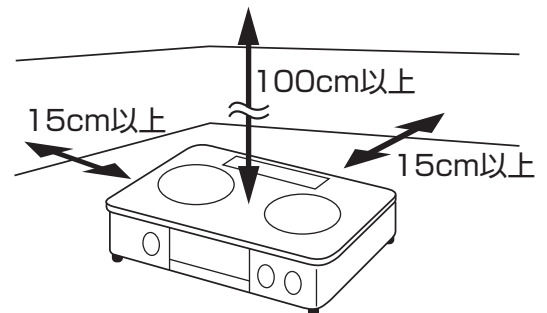
■設置場所と周囲の防火措置

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。
＊防火措置は各地の火災予防条例に従って行ってください。

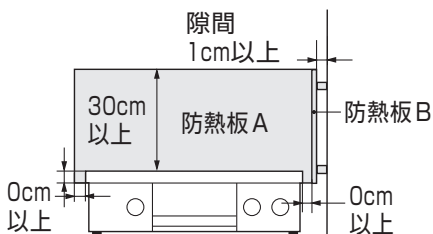
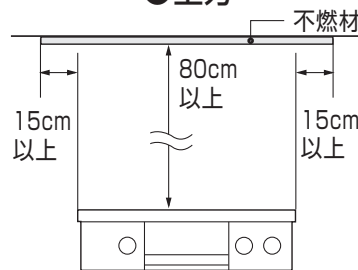
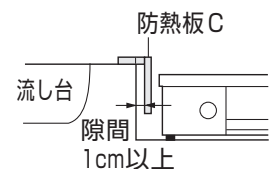
⚠警告

下記の条件を満たしている場所をお選びください。
＊設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。

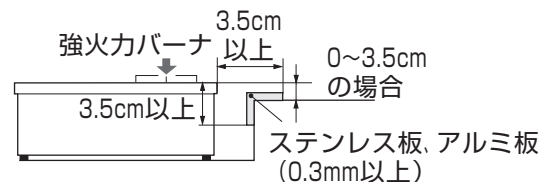
- **●風が吹き込まない**
- **●水や熱がかからない**
- **●換気が良い**
- **●上に照明器具などの樹脂製品がない**
- **●水平で安定している**
- **●落下物の危険がない**
- **●上に湯沸器がない**
- **●周囲に可燃物がない**

周囲に可燃物（木製などの可燃性の壁、ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた壁、たななど）**のある場合**

●トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離す
●上記の離隔距離がとれない場合は、防熱板を取り付ける

■防熱板について

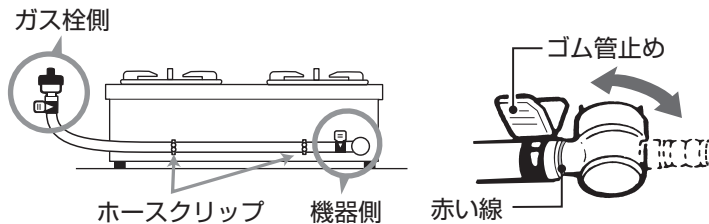
別売の防熱板Ａ、Ｂ、Ｃまたは金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。
＊防熱板A, Bは、壁とトッププレートとの隙間が25mm必要で、取り付け方法は壁にネジ止めとなります。

●側面・背面

●上方

●流し台などの側面

トッププレート面が低いとき

■強火力バーナ側の防火措置

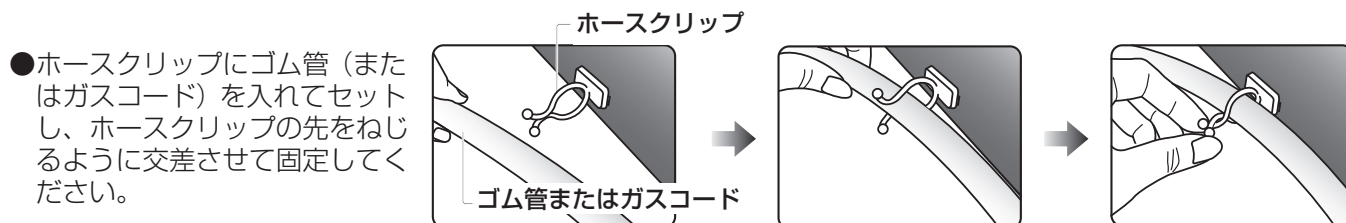
可燃性の調理台・流し台などが、トッププレートと同じ高さまたは低い場合でも強火力バーナ側を密着設置する場合は図のように保護してください。

ゴム管接続の場合

＜用意するもの＞
●φ9.5mmガス用ゴム管（新品）1本（市販品）
（都市ガス用とLPガス用があります。
お使いのガスに合わせてお選びください。）
●ゴム管止め２個（市販品）

ガス栓側
ゴム管止め
ホースクリップ
機器側
赤い線

①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めで止める
③機器の下側を通したり、高温になる部分に触れないようにホースクリップでゴム管を固定する
（下記の「ホースクリップについて」を参照し、固定してください。）
④ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

■ホースクリップについて

安全にご使用いただくために、ゴム管（またはガスコード）を接続する際には、ゴム管（またはガスコード）を機器の下側を通したり、高温になる部分に触れないように“ホースクリップ”で2か所固定してください。

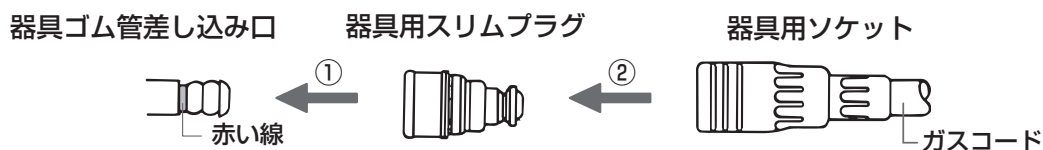
●ホースクリップにゴム管（またはガスコード）を入れてセットし、ホースクリップの先をねじるように交差させて固定してください。

ガスコード接続の場合

＜用意するもの＞
●器具用スリムプラグ（市販品）
●ガスコード（市販品）

＊ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がコンセントになっていないと接続できません。
従来のガス栓で使用する場合は、市販のガス栓用プラグが必要です。

ガス機器側の接続

①下図のように、まず器具用スリムプラグを機器のゴム管差し込み口に取り付ける
②次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで差し込む
(器具用スリムプラグに同梱してある取扱説明書に従ってください。)

器具ゴム管差し込み口　器具用スリムプラグ　器具用ソケット

ガス栓側の接続（ガス栓がガステーブル用であることを確認してください。）

①ガス栓を開けるとき
コンセント継手を“カチッ”と音がするまで確実に差し込む

●コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。

②ガス栓を閉めるとき
コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く

●コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

ガスコンセントについて

「ガスコンセント」は、ガスコード等を取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。

●フタを開ける
フタの右端を押す

●取り付ける
“カチッ”と音がするまで差し込む

●取りはずす
右端にあるフタを押す

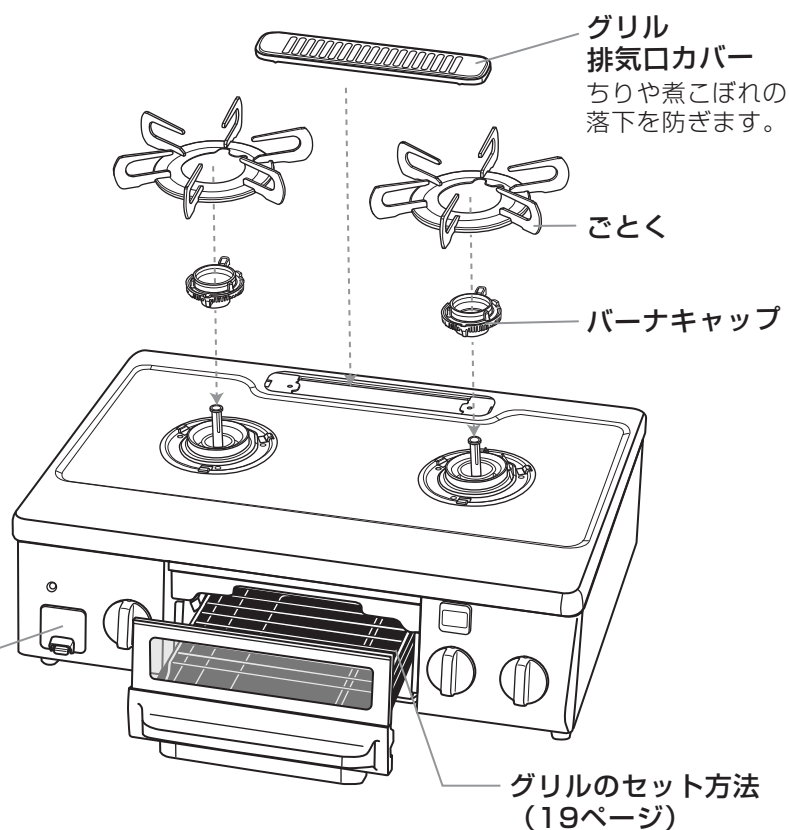
設置について

■部品のセット

●図は、強火力バーナが右側、標準バーナが左側(左側壁設置)の機器のご紹介となっております。

⚠ 警告

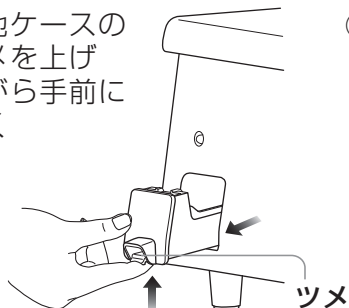
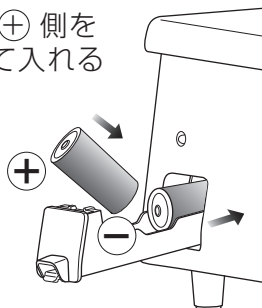
標準バーナ側を壁側に設置する

＊壁側の火災を防止するためです。

■乾電池のセット

（乾電池 単1形 1.5V 2個）

付属の乾電池はあらかじめ電池ケースにセットされています。絶縁シートを取り外してください。（1ページ）

■乾電池の交換方法

①電池ケースのツメを上げながら手前に引く

②乾電池の ⊕ 側を手前にして入れる

③電池ケースを奥までしっかり入れる

⚠ 注意

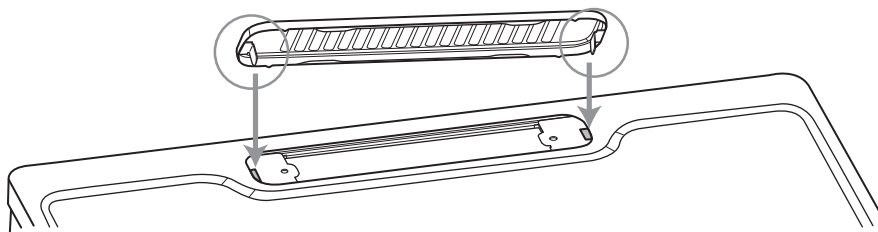
■乾電池は充電・分解・加熱したり、火の中に投入しない

乾電池が破裂し、手や衣服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

おねがい

- ●電池ケースに水などの異物が入った場合は、乾電池の接触不良の原因となるため、ふき取ってきれいにしてください。
- ●乾電池の挿入方向を間違えないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池、または違う種類の乾電池を混ぜて使わないでください。
- ●乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年ですが、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電により寿命が短くなっている場合があります。
- ●未使用の乾電池でも「使用推奨期限（月一年）を過ぎている場合は、放電により短時間でおしらせサインが点灯することがあります。

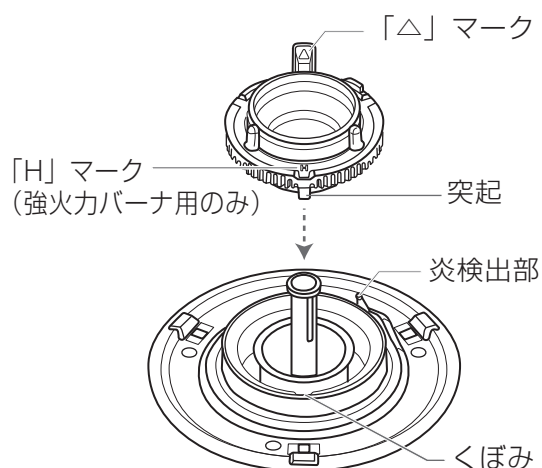
グリル排気口カバーのセット

裏面の突起（2か所）がグリル排気口の差し込み穴にはまるようにセットする

バーナキャップのセット

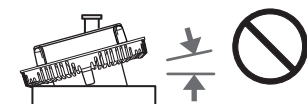
バーナキャップ上面の凸部の「△」マークを奥側にし、突起を正面のくぼみにあわせてセットする

●強火力バーナ用のバーナキャップは、手前に「H」マークを表示しています。

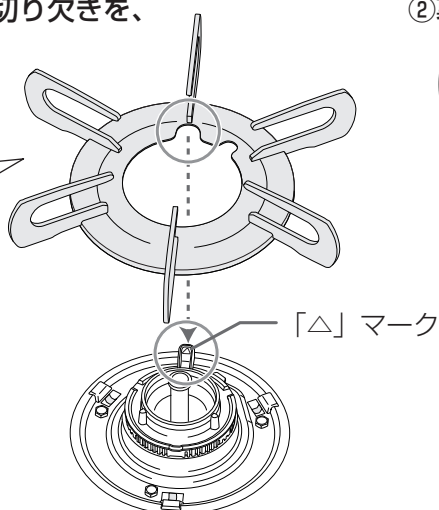
＊標準バーナ用と強火力バーナ用（「H」マーク付）では形状が異なりますので、取り付け間違いしないよう注意してください。

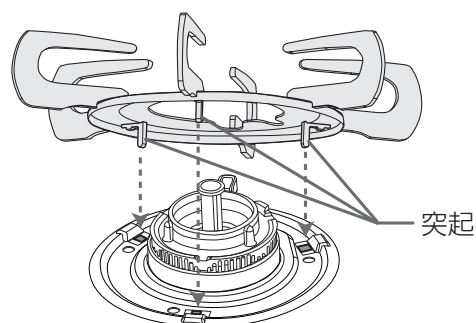
⚠注意

浮き・傾きのないように正しくセットする

→不完全燃焼や火災の原因になります。

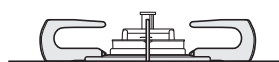
【正面から見た図】

ごとくのセット

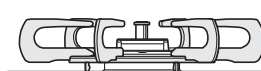
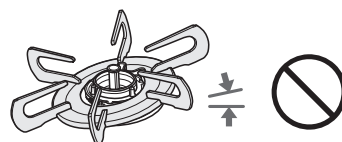
①切り欠きを奥に向け、左側の切り欠きを、バーナキャップの凸部の「△」マークに合わせる

※左側の切り欠きを合わせる
合せる切り欠きの位置を間違えないように注意する

②裏面の突起（3か所）をトッププレートの差し込み穴にはまるようにセットする

⚠注意

浮き・傾きのないように正しくセットする

→ごとくの裏側の突起部をトッププレートの差し込み穴にしっかりはめ込み、浮き・傾きのないようにセットしてください。ごとくが浮いたまま使用すると不完全燃焼や火災、故障の原因になります。

【正しいセット】

浮き・傾きなし
大きく動くことはありません。

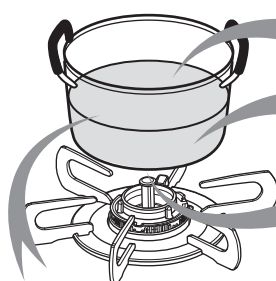
【誤ったセット】

浮き・傾きあり
少しの力で大きく動いてしまいます。

コンロ/グリルの使いかた

コンロを使う前に

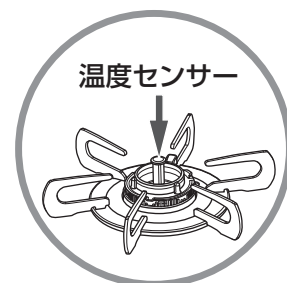
おねがい

- なべに付いた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
- なべをごとくにのせてから点火したほうがより点火が確実になります。
- 煮こぼれに注意してください。機器の内部に浸入しますと機器故障の原因になります。また、トッププレート、ごとく、バーナなどに煮こぼれが焼きついたりして、機器を早くいためます。
- 焦げつき消火機能が付いていても調理によってはひどく焦げついてしまう場合があります。
  焦げつきやすい調理の場合、弱火（最弱火力）でようすを見ながら調理してください。
  《焦げつきやすい調理の例》水分が少なく、調味料が多い調理・カレーやシチューの再加熱
- 揚げもの調理は標準バーナの使用をおすすめします。

■温度センサーを正しく作動させるためにお守りください

特に揚げもの調理時にお守りいただけなければ、調理油の過熱による発火を防止できないことがあります。

揚げもの調理時は、200 mℓ以上の油を入れる

なべの重さは、食材を含んで300g以上を目安とする
※重さはなべや取っ手の形状により異なります。

なべ底の中心を、温度センサーの上面に密着させる
※なべ底の中心と温度センサーの上面が密着していないときは使用しないでください。

調理に適したなべを選ぶ（下表）

○：適する　×：適さない

なべなどの種類	油調理		その他の調理(煮物など)	備考
	揚げもの	炒めもの		
ホーロー なべ、ステンレスなべ(多層を含む)、アルミ・鉄なべ、無水なべ	○	○	○	温度センサーに適しています。
アルミ・鉄・ステンレス(多層を含む) フライパン、平底中華なべ	○	○	○	炒めもの調理時フライパンを返す動作を何度も行い、温度センサーとなべ底が密着していない時間が長くなると、途中消火することがあります。
天ぷらなべ	○	／	／	揚げもの調理以外の調理には適していません。
耐熱ガラスなべ、土なべ、圧力なべ	×	○ (ただし、消火する場合があります)	○ (ただし、消火する場合があります)	揚げもの調理には適していません。発火することがありますので、使用しないでください。
打ち出しなべ、丸底中華なべ	×	○	○	揚げもの調理には適していません。揚げもの調理以外の調理は、なべ底の中心と温度センサーの上面が密着していることを確かめてください。
焼 網	／	／	×	消火したり、トッププレートやごとくの変色等の原因になります。

使用中、自動的に弱火になったときは ⇒【異常過熱防止機能】が働いています

炒めもの調理・焼きもの調理など比較的温度の高い調理や、なべのから焼きをしたときに、弱火⇔強火と火力を自動調節し、なべなどの異常過熱を防止する機能です。この状態が約30分続いた場合、または弱火状態でも温度センサーが更に高い温度になった場合は自動消火します。

●から焼きなどでなべの温度が急速に上昇すると、安全のため加熱途中でも火力をいったん弱くし、異常高温に達しないよう火力を自動制御します。
※最初に弱火になったとき、ブザーが“ピッ”と1回鳴ってお知らせします。
●なべの温度が安全な温度まで下がると再び強火（もとの火力）に戻ります。
　＊故障ではありません。
　＊自動的に炎の大きさが弱火から強火へ変化します。やけどのおそれがあるため、顔や手や衣服を炎・バーナ付近には近づけないように注意してください。
＊自動消火した場合は、なべなどが相当熱くなっていますので、やけどなどに注意してください。
＊再使用する場合は、操作つまみを消火位置まで戻し、少し時間をおいてから点火操作をしてください。

さらに安心モード

コンロの異常過熱防止機能（高温での調理が続いた場合、自動消火する機能）が働いた場合、自動消火するまでの時間を15分に変更することもできます。（初期設定は30分です）
詳しくは「さらに安心モード」について（21ページ）を参照ください。

【ワンポイント】
炒めものなどの調理をする場合には、先になべを加熱し、ブザーが "ピッ" と1回鳴り、自動的に弱火になったときが具材の入れ頃です。

煎りものなど、さらに高温になる調理には
（高温炒め機能の設定：強火力バーナのみ）

煎りものなど、高温が必要な調理の場合に使用してください。（強火力バーナのみ）

■強火力バーナを使用中に、
“高温炒めスイッチ”を長押しする（3秒以上）

●ブザーが“ピッ”と鳴り、高温炒め表示ランプが点灯します。
●強火力バーナの「焦げつき消火機能」は作動しません。

※「高温炒め機能」を取り消すには、もう一度、高温炒めスイッチを押してください。

●ブザーが“ピッ”と鳴り、高温炒め表示ランプが消灯します。
●強火力バーナの「焦げつき消火機能」は作動します。

⚠警告

揚げものなどの油調理には、高温炒め機能を使用しない

知っておいてね

●高温炒め機能を使用中も、センサーの故障を防止するため、センサーの温度があがりすぎると自動的に火力を調節したり、ガスを止めて消火したりすることがあります。（異常過熱防止機能）
●高温炒め機能を設定したまま消火しても、次回点火時には高温炒め機能は取り消され、通常設定に戻ります。

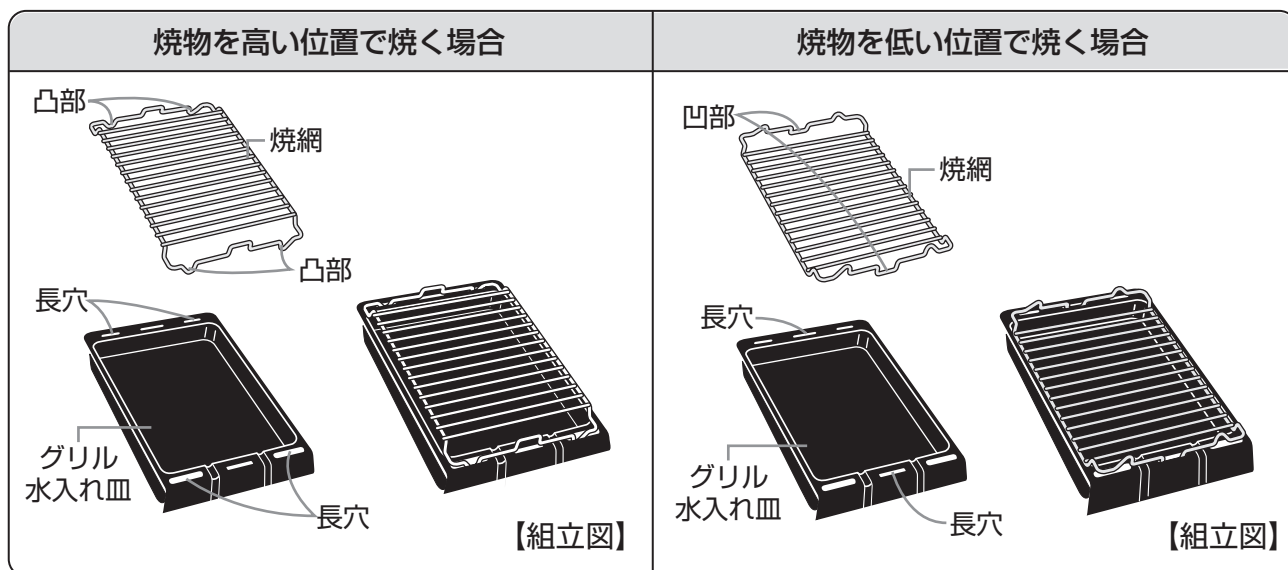
コンロ/グリルの使いかた

グリルを使う前に

はじめて使うとき

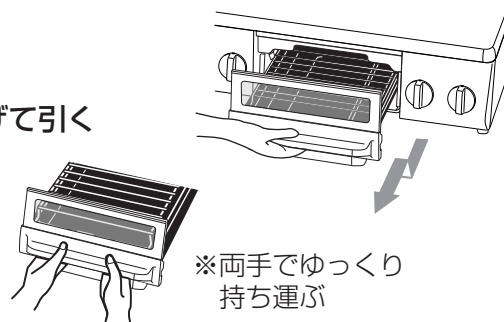
①グリル水入れ皿にコップ1杯（約200mℓ）の水を入れる
②約15分、空焼きする … 庫内の油を焼ききるためで煙や臭いが出ても異常ではありません。

■グリルのセット方法

●次のように焼網の凹凸部をグリル水入れ皿の長穴にセットしてください。
＊焼網は表裏で高さが変わります。
焼物の種類、大きさ、お好みの焼き加減により使い分けてください。

＊イラストは取っ手を取り外した状態で説明していますが、通常は取っ手を取り付けたままでセットしてください。

■グリル水入れ皿の取り出しかた

中の水がこぼれないようにゆっくりと引き出す
取りはずすときは、止まるところまで引き、少し持ち上げて引く

＊最初から持ち上げた状態で引き出さないでください。
止まらずに勢いよく出てきてしまいます。
＊持ち運びするときは、取っ手部を両手でしっかりと
持ってください。

■焼きかたのポイント

●焼網に食用油を塗っておくと、魚がくっつきにくくなります。
●お好みにより塩をふっていただくと、焼き色が濃くなります。
●魚のヒレなどこげやすい部分は厚めに塩をふるかアルミはくで包んでおくとこげかたが
少なくなります。

おねがい

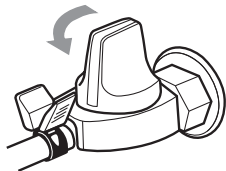
●グリル使用後、グリル水入れ皿や焼網を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。
●冷凍された食材はしっかり解凍してから調理してください。解凍していないと火の通りが悪くなり、
上手に焼けない場合や、安全機能が働き、消火する場合があります。

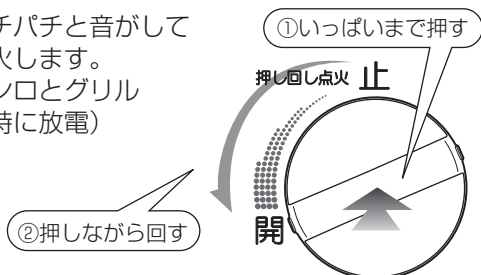
コンロの使いかた

1 準備

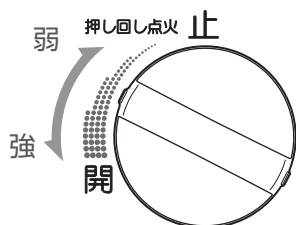
操作つまみが「止」の位置にあることを確かめて、ガス栓を全開にする

【ガス栓】

2 点火

①操作つまみをいっぱいに押しながら「開」の位置まで回す

●パチパチと音がして点火します。
（コンロとグリル同時に放電）

②手を離しても点火していることを確認する

3 火力調節

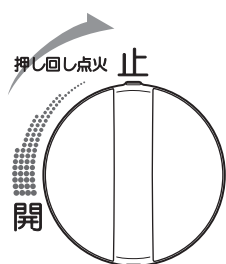
炎を見ながら操作つまみをゆっくり動かす

●使用中もときどき燃焼を確かめてください。
●弱火でお使いの時は、立ち消えにご注意ください。
※コンロ使用中、センサー温度が高くなると、自動的に強火⇔弱火を繰り返し、なべなどの異常過熱を防止する機能が作動します。（18ページ）

4 消火

①操作つまみを「止」の位置まで戻す

●消火を確かめてください。

②ガス栓を閉める

＊燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

グリルの使いかた

1 準備

⚠注意

グリル庫内（バーナ付近）にアルミはくなどのゴミが付着していないことを確認する

→点火不良や思わぬ事故の原因になります。

①操作つまみが「止」の位置にあることを確かめて、ガス栓を全開にする

②焼網をセットする

●焼網は表裏で高さが変わります。焼物の種類、大きさ、お好みの焼き加減などにより使い分けてください。

低い位置

高い位置

③グリル水入れ皿にコップ1杯(約200 mℓ)の水を入れる

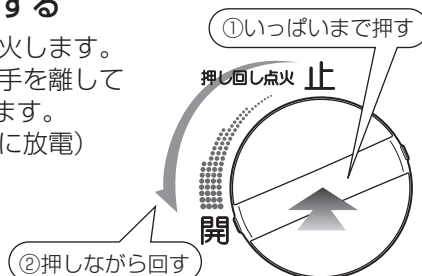
●続けて使用するときはそのつど脂を取り除き、水を入れてください。

④グリル水入れ皿を奥までしっかりと入れる

●グリル扉が閉まっていることを確認してください。

2 点火

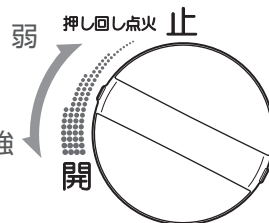
①操作つまみをいっぱいに押しながら「開」の位置まで回し、手を離しても点火していることを確認する

●パチパチと音がして点火します。確実に点火させるため手を離しても約7秒間放電し続けます。
（コンロとグリル同時に放電）

②3分ほど予熱をしてから材料をのせる

3 火力調節

炎を見ながら操作つまみをゆっくり動かす

●裏返した面は前よりも早い時間で焼き上がります。
＊火力の目安は全開（強）ですが、お好みにより弱火にも調整できます。弱火にした際、炎の見た目の大きさはほとんど変化しません。

4 消火

①操作つまみを「止」の位置まで戻す

●消火を確かめてください。

②ガス栓を閉める

＊燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

③グリル水入皿のお手入れをする

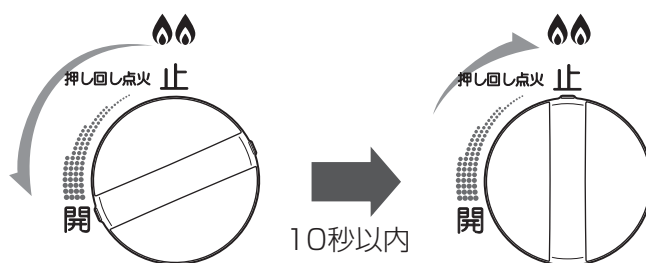
「さらに安心モード」について（任意機能）

すべてのコンロの消し忘れ消火時間・異常過熱防止機能作動時間を一括で変更することができます。
ご希望の方はお好みに合わせて選択してください。

適応機能	「さらに安心モード」を解除した場合（工場出荷時の初期設定）	「さらに安心モード」に設定した場合
消し忘れ消火機能　（2ページ） ●コンロの消し忘れ消火機能で自動消火するまでの時間を変更できます。 ●すべてのコンロの設定を変更します。	120分	30分
異常過熱防止機能　（2,18ページ） ●コンロの異常過熱防止機能（高温での調理が続いた場合、自動消火する機能）が働いた場合、自動消火するまでの時間を変更できます。	30分	15分

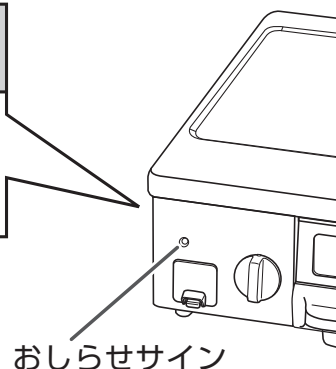
1 **ガス栓を閉じ、すべての操作つまみが「止」の位置にあることを確かめる**

2 **標準コンロ（🔥🔥）の操作つまみを押し回して「開」の位置にし、すぐに標準コンロの操作つまみを戻し、「止」の位置にする**

（10秒経過すると、設定できずに通常の使用状態に戻ります。）

3 **高温炒めスイッチを長押しする（3秒以上）**

●「さらに安心モード」が設定または、解除されます。
（***2*** の操作から10秒経過すると、設定変更できずに通常の使用状態に戻ります。）

「さらに安心モード」に設定した場合	「さらに安心モード」を解除した場合
メロディが流れ、おしらせサインが点灯します。	“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、おしらせサインが点滅します。

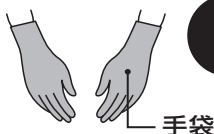
●5秒経過するとおしらせサインは消灯し、設定変更が完了します。
●設定と解除は同じ操作方法になります。
●操作後、乾電池を交換しても設定は記憶されています。

点検とお手入れ

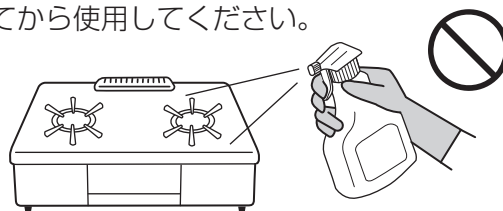
⚠注意

■機器を水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼・故障の恐れがあります。

■点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

■スプレー式の洗剤はスプレーで直接洗剤を機器にかけない

機器内部に洗剤が入ると、部品の作動不良や、腐食の原因になり、安全性を損なう可能性があります。使用する場合はスポンジや布に含ませてから使用してください。

おねがい

●点検とお手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
（機器が冷えるまで時間がかかります。）
●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われる場合は使用しないでください。
●「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くの当社にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
●安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。（有償）

点検のポイント

＊点検は常時行ってください。

項目	内容
機器のまわりに可燃物等はありませんか？	機器のまわりに可燃物や障害物がないようにしてください。
各部品は正しくセットされていますか？	バーナキャップ、ごとくなど左右前後正しくセットされているか確認してください。
ゴム管は正しく接続されていますか？古くなっていませんか？	赤い線までしっかり差し込み、ゴム管止めで止めてください。古くなるとひび割れしたり、差し込み口がゆるくなります。早めに取り替えてください。
汚れていませんか？	煮こぼれやグリル使用後などで機器が汚れているときはお手入れしてください。
ガス臭くありませんか？	ガス栓を開け、ゴム管の接続部からガスの臭いがしないことを確かめてください。
乾電池は消耗していませんか？	コンロまたはグリルの操作つまみを押し回してください。 おしらせサインが点灯したときは新しい乾電池と交換してください。

お手入れのしかた

●機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
●工具を使用しての分解は絶対にしないでください。次のページのお手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。異常作動や発火をしてけがの原因になります。
●お手入れの後は各部品が正しくセットされているか確認をしてください。
（「設置について」13ページ参照）

おねがい

●汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなり早くいたみます。
煮こぼれをした場合はそのつどお手入れしてください。煮こぼれしたまま放置すると故障の原因になります。

点検とお手入れ

■お手入れの道具・使用する洗剤について

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。
コンロのお手入れには、使用に適さない道具や洗剤があります。

○ 適しているもの

台所用中性洗剤

やわらかいスポンジ

やわらかい歯ブラシ

やわらかい布

メラミンフォームスポンジ

× 適さないもの

シンナー・ベンジン

酸性洗剤・アルカリ性洗剤・漂白剤

みがき粉・クレンザー

スポンジ硬い面

ナイロンたわし

金属たわし

直接かけて使用してはいけないもの
スプレー式洗剤

絶対に使用してはいけないもの
可燃性スプレー
浸透液
潤滑剤

- ●シンナー・ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤などは機器の損傷の原因になります。
- ●印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど硬いものを使用すると表面を傷付ける場合があります。
- ●スプレー式洗剤を使用する場合は、直接ふきかけるのではなく、スポンジなどに含ませてからご使用ください。

■お手入れのしかた

バーナキャップ

炎がふぞろいになったときは、穴やみぞを歯ブラシやつまようじなど先の細いものなどで掃除する

＊目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。

- ●表側の黒い部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。万一、黒い部分がはがれてもそのままお使いになれます。
- ●お手入れの後は浮き・傾きのないようにセットしてください。

グリル部（25ページ参照）

（25ページ参照）

ごとく、グリル排気口カバー

台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

＊グリル排気口カバーをはずして、機器内部に落ちた野菜くずなどを取り除いてください。

汚れが落ちないとき

熱めのお湯をかけて浸し置きし、台所用中性洗剤で水洗いしてください。それでも汚れが落ちない場合は煮洗いしてください。

煮洗い：
なべに水を入れ、ごとくなどを沈めて火にかけます。沸騰した状態で20分ほど煮詰め、汚れが浮きだしたら火を止めて十分に冷やしたあとスポンジなどで水洗いします。

器具から取り外せません。

炎検出部・電極

汚れや水気が付いたときはやわらかい布でふき取る

＊汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。

おねがい

取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。故障の原因になります。
先端がとがっています。けがをしないように注意してください。

温度センサー

変形しないように温度センサーに片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

＊汚れが付いていると温度センサーの感度が悪くなります。

トッププレート

乾いた布で汚れをふき取る

- ●汚れの落ちにくいときは台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布で水気をふき取ってください。

フッ素コートトッププレートについて（IC-330SF-Lの場合）

- ●お手入れにはスポンジや布などのやわらかいものをお使いください。ナイロンたわし、金属たわし、みがき粉などの固いものは表面をキズ付けるので使わないでください。
- ●スポンジでもとれないしつこい汚れは乾いた布や柔らかい紙をお使いください。
- ●中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナー、漂白剤などのアルカリ性洗剤)は使わないでください。フッ素コートをいため、シミや変色の原因になります。
- ●汚れたままにしておくとシミになることがあります。
- ●長期間のご使用によりフッ素コートが変色することがありますがフッ素の効果には影響ありません。

機器前面・操作部

汚れたときは台所用中性洗剤を含ませたスポンジや布でふき取る

＊機器内部に洗剤や水気が残らないようにしてください。

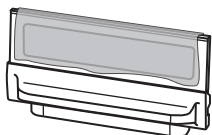
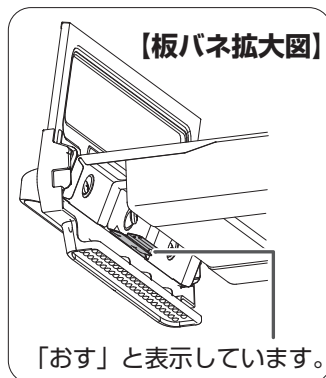
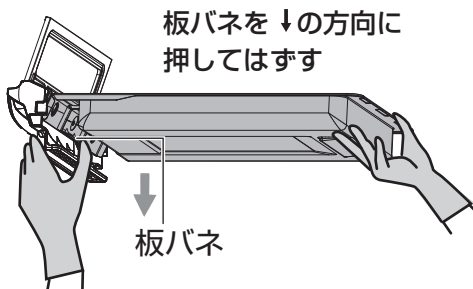
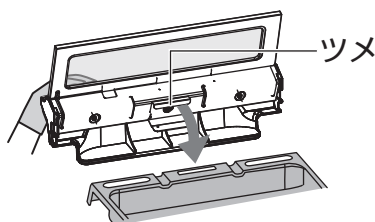
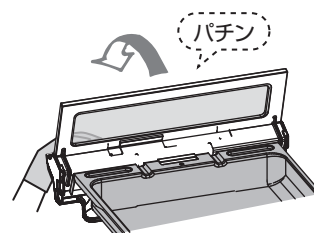
点検とお手入れ

グリル扉

スポンジ、布などのやわらかいもので汚れをふき取る

●グリル扉は取りはずしてお手入れすることもできます。

汚れが落ちないとき

水で薄めた台所用中性洗剤で湿らせたキッチンペーパーを汚れが目立つ部分に湿布のように貼り付けます。20分ほど置き、汚れが浮きあがってきたら水拭きし、汚れをふき取ります。

取りはずしかた

取り付けかた

①ツメをグリル水入れ皿にはめ込む

②グリル取っ手をおこす

●板バネがはまり、固定されます。

おねがい

●グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないでください。ガラスが割れる原因になります。

グリル水入れ皿、焼網

お使いのたびに台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

＊グリル水入れ皿は汚れたままお使いになると、こびりついた脂汚れが発火するおそれがあります。

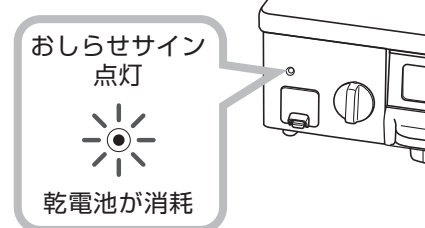
●グリル水入れ皿とグリル扉は取りはずしてお手入れできます。
（グリル扉の「取りはずしかた」「取り付けかた」を参照ください。）

おねがい

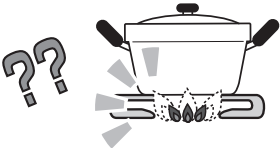
使用直後、グリル水入れ皿や焼網を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。

乾電池の交換について

使用時におしらせサインが点灯したときは、乾電池が消耗していますので、新しい乾電池（単1形1.5V 2個）と交換してください。（「設置について　乾電池の交換方法」参照）交換せずにそのままにしておくと使えなくなります。

●乾電池が消耗してくると安全装置が作動しなくなるので、操作つまみを回したとき点火していても、安全のため、手を離すと消火するようになります。操作つまみを「開」の位置で保持し続ければ点火していますが故障の原因となりますのでおやめください。
●乾電池がすっかり消耗したときは、おしらせサインの点灯はしません。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。

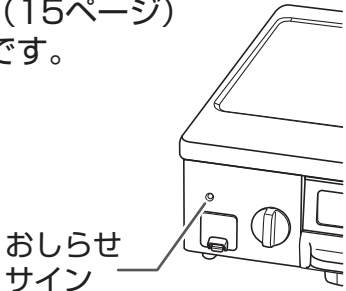
現　象	原　因	処置方法	参照ページ
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	20
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	15/26
	乾電池または電池ケースの取り付けが悪い	正しくセットする	15
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す	5/14
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	5/14
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	9/23
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	16
	ごとくのセット不良	正しくセットする	16
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	10
	点火操作が不適切	操作つまみをいっぱいに押しながら「開」の位置まで回す	20
	炎検出部･電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部・電極のお手入れをする	23
	グリル庫内にアルミはく等のゴミが付着している	付着しているゴミを取り除く	－
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	－
	温度センサーとなべ底が正しく接触していない	温度センサーとなべ底を正しく接触させる	11/17
	安全装置が作動した	安全装置が作動したときの処置方法を参照する	28
おしらせサインが点灯する	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	15/26
おしらせサインが点滅する	安全装置が作動した	安全装置が作動したときの処置方法を参照する(サインは15分間点滅)	28
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	9/23
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	16
	ごとくのセット不良	正しくセットする	16
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	5/14
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換する	5/14
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	16

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではありません。

故障ではない場合	理　　由
点火･消火のときに「ボッ」という音がする	点火時、消火時に「ボッ」という音がする場合がありますが、異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	燃焼中のガスの通過音です。異常ではありません。 ※万が一ガス臭い場合は、使用を停止してください。
コンロを使用中「カチッ」という音がする	火力を調節するときの機器の音で、異常ではありません。
グリル使用時にコンロを使用すると、炎の色が変わる	グリル使用時にコンロを使用すると、焼物の塩分などが燃えて炎の色が変わることがありますが異常ではありません。
使用中、弱火になる／火力が変化する コンロを使用中、強火⇔弱火をくり返す	なべなどの異常過熱を防止する機能が働いたためで、異常ではありません。（18ページ参照）
再点火してもすぐ弱火になる	なべの異常過熱を防止する機能が働いたためで、異常ではありません。しばらく待ってから再点火してください。（18ページ参照）
グリル扉がはずれた	お手入れのために、グリル扉は取りはずせるようになっています。（取り付けかた「点検とお手入れ」25ページ参照）
赤色の炎で燃える	加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムにより炎が赤くなることがありますが、異常ではありません。

よくあるご質問

Q：調理中に勝手に
火力が小さくなったり、
大きくなったりする

A：なべなどの異常過熱を防止する機能がはたらいたためで、
故障ではありません。（18ページ）
なべの温度が安全な温度まで下がると再び強火
（もとの火力）に戻ります。

※この状態が30分以上続いた場合、または弱火状態でもさらに高い温度になった場合は自動消火します。

Q：点火操作をしても
火がつかない
または、手を離すと
消火する

電池ケースの上にある
「おしらせサイン」が
点灯 ☀ している

A：乾電池が消耗しています。（26ページ）
乾電池を交換してください。（15ページ）
乾電池の交換の目安は約１年です。

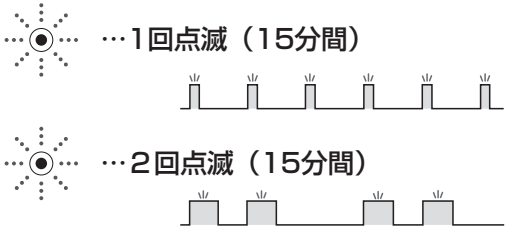
火がつかなくなったときは
「おしらせサイン」を確認
してください。

■安全装置について

次のような安全装置が付いています。
安全装置が作動するとブザー（ピー♪）でお知らせします。
下記現象以外でブザーが鳴った場合は、使用を中止しガス栓を閉じた後、お買い上げの販売店またはお近くの当社まで、点検・修理を依頼してください。

おしらせサインが点滅 ＝ 安全装置が作動

…1回点滅（15分間）

…2回点滅（15分間）

安全装置	おしらせサイン	部位	機能説明	処置方法（消火に気付いたときは…）
立消え安全装置		コンロ グリル	風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。	**すぐに操作つまみを戻して消火状態にしてください。**炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。再点火するときは周囲にガスがなくなるのを待ってください。
天ぷら油 過熱防止機能	2回点滅	コンロ	調理油が過熱による発火をする前に自動消火します。	**すぐに操作つまみを戻して消火状態にしてください。**再点火する場合は、少し時間をおいてから（油の温度が適温になるまでそのままお待ちいただいた後）点火操作してください。 ＊おしらせサインの点滅は約15分後、または再度点火操作したときに止まります。 （なべや調理によっては途中で消火する場合があります。）
焦げつき 消火機能	2回点滅	コンロ	煮物等の調理中になべ底が焦げつき始めたら、自動消火します。 ※高温炒め機能設定時は除く	**すぐに操作つまみを戻して消火状態にしてください。**再点火時は更に焦げつきやすくなりますので、ようすを見ながら調理してください。 ＊おしらせサインの点滅は約15分後、または再度点火操作したときに止まります。 （なべや調理によっては途中で消火する場合があります。）
消し忘れ 消火機能	1回点滅	コンロ グリル	万一の消し忘れのために、点火後、コンロは約120分、グリルは約22分経過すると自動消火します。また高温状態で温度変化のないとき(使用中、強火⇔弱火を繰り返しているとき)は約30分経過すると自動消火します。 **※時間に関してはそれぞれ「さらに安心モード」(21ページ)で変更している場合があります。**	**すぐに操作つまみを戻して消火状態にしてください。**グリルを連続して使うときは、一旦消火して、グリル水入れ皿に水を追加し、しばらく待ってから再度点火してください。 ＊おしらせサインの点滅は約15分後、または操作つまみを戻して消火状態にしたときに止まります。

※操作つまみの戻し忘れのお知らせについて

安全装置が働き自動消火した場合は、操作つまみを「止」の位置に戻し、消火操作をしてください。
そのまま操作つまみを戻し忘れると、1分毎に“ピー ・ ピー ・ ピー”と3回ブザーが鳴りお知らせします。

保管とアフターサービス

保管(長期間使わないとき)

①ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
③汚れを取り除く(「点検とお手入れ」参照)
④乾電池を取りはずす
⑤箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

アフターサービスについて

■点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。
なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

1.ご住所・ご氏名・電話番号
2.現象(できるだけ詳しく)
3.品名・器具名(銘板表示のもの)
4.ご購入日・ガス種
5.道順・目標

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日　8：30～18：00 (土・日・祝日・弊社指定定休日を除く)

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。
【各地区のサービスセンター】 受付時間：平日　9：00～18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1－1	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20－10	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015 東京都北区中里3－11－9大平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6－23	052-824-5101	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8－12	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

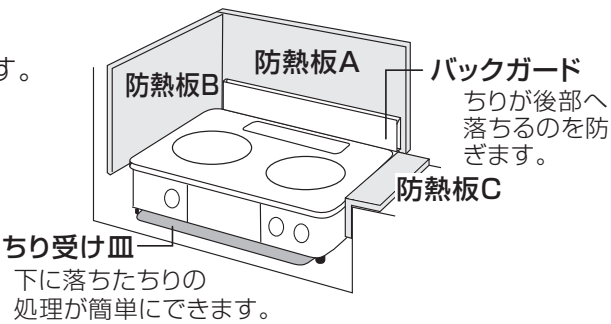
■ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有償となります。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、5年間保有しております。

■別売部品のごあんない

次のような別売部品を用意しております。下記は代表例です。
防熱板は「設置について」を見て、取り付けかたを確認してください。
詳細はお買い上げの販売店かお近くの当社までおたずねください。

取り出しフォーク
魚などが身くずれすることなく簡単に取り出せます。

パロマ専用クリーナ
ごとくなどの頑固な汚れを落とすのに使用します。

部品名	希望小売価格（税込）	部品名	希望小売価格（税込）
防熱板A	¥3,990	ちり受け皿	¥840
防熱板B	¥3,675	取り出しフォーク	¥368
防熱板C	¥2,415	パロマ専用クリーナ	¥1,260
バックガードB（56cmガステーブル用）	¥2,940	ねずみガードD	¥8,190

※ねずみガードを取り付けると、バックガードとちり受け皿はご利用できません。
※価格については変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■お客様にて取り替え可能な消耗部品のごあんない

バーナキャップ、ごとく等が長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

部品名	希望小売価格（税込）	部品名	希望小売価格（税込）
ごとく	¥735	グリル排気口カバー	¥315
バーナキャップ（強火力コンロ用）	¥945	焼網	¥945
バーナキャップ（標準コンロ用）	¥945	グリル受け皿	¥630

※価格については変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■お客様にて取り替え可能な消耗部品・別売部品のご購入について

お客様にて取り替え可能な消耗部品・別売部品のご購入は、お買い上げの販売店かお近くの当社サービスセンター、または当社ホームページ内公式部品販売サイト「パロマ+プラス」（http://www.paloma-plus.jp/）にてお買い求めください。お買い求めの際は、必ず銘板の器具名をお知らせください。

パロマの部品販売サイト
パロマ+プラス

パロマ製品の消耗部品・別売部品をインターネット販売サイトよりご購入いただけます。
http://www.paloma-plus.jp/

仕　様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品　　名	IC-330SV-L・IC-330SB-R・IC-330SF-L・CZ-33SB-R・KJ-333SB-R・IC-33BE9-L
器 具 名	IC-330SV-L・IC-330SB-R・IC-330SF-L・CZ-33SB-R・KJ-333SB-R・IC-33BE9-L
型 式 名	E1-4-10
種　　類	ガスグリル付こんろ
点火方式	連続放電点火
外形寸法(機器最大)	高さ218×幅558×奥行447mm
質量(本体)	9.8kg
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管
安全装置	立消え安全装置・焦げつき消火機能・消し忘れ消火機能・ 調理油過熱防止装置(天ぷら油過熱防止機能)・グリル排気口遮炎装置
付属部品	乾電池 単1形 1.5V（2個）・取扱説明書・保証書

使用ガス ガスグループ		ガス消費量 kW			
		標準バーナ	強火力バーナ	グリル	全点火時
都市ガス用	12A	2.75	3.93	1.41	7.64
	13A	2.95	4.20	1.51	8.20
LPガス用		2.95	4.20	1.51	8.10

■外形寸法図（単位:mm）

24. 5.　①　H　38　89183